好立地での直営店舗増設へ

アイリックコーポレーション

9月25日付で東証マザーズに上場

保険業界向けのソリューション事業やシステム事業および来店型保険ショップ「保険クリニック」を運営する株式会社アイリックコーポレーション（東京・文京区、勝本竜二代表）は9月25日付で東証マザーズ（東京証券取引所マザーズ市場）に上場した。保険代理店による株式上場はアドバンスクリエイト、ニュートン・フィナンシャル・コンサルティングに次いで3社目。上場による資金調達力アップで、好立地での保険ショップ直営店の増設や優秀な人材の確保などを進める考えだ。

会見する勝本社長

これまで同社では数度、上場に向けた検討を図ってきた経緯があるが、同社が事業の主軸に据えるフィンテックの概念が社会的にも高い関心を集めていることなどを好機と考え、上場に踏み切った。今年5月に東証マザーズに上場申請し、8月20日に承認、9月25日に上場となった。

9月26日には、東京のドバック」「保険会社との長期にわたる信頼関係の構築」などが他にない強みで、高い参入障壁だろうと話すなど、同社システムの独自性に自信を示した。

同社本社で勝本社長が会見。自社開発の保険分析・検索システムについては「過去の保険分析からの圧倒的なデータ量」「現場発の課題のフィー

今回の株式上場により、市場からは11億8000万円の資金を調達できる見込みで、これらの資金を主に、好立地での保険ショップ直営店の増設やシステム開発に伴う優秀なシステムエンジニアの確保などに投下したいとしている。

上場を果たしたことについて勝本氏は「株式上場を機に、株式公開企業としての責任を自覚し、保険業界全体の発展および当社の業容拡大に一層、努めていきたい」と抱負を述べた。

直営とフランチャイズ（FC）からなる来店型保険ショップ「保険クリニック」の今年9月末時点での店舗数は直営32店舗とFC148店舗。直営店については今後、好立地に視認性の高い店舗を年間4～6店舗、構える計画を立てている。